

単元名 **ものとひとのかず**

配当時間 **3時間**

単元の目標 (1) ある数量を他の数量に置き換えることの意味を理解し、順序数と集合数について理解を深めることができる。  
(2) 絵や図を活用して、ある数量を他の数量に置き換えて考えたり、並んでいる数からその順番を考えたりすることができる。  
(3) 図を使って考えるよさに気付き、進んで生かそうとする。

### 標準的な展開例

01040212\_001

【準備等】数図ブロック

学 習 活 動	留 意 事 項 な ど
<p>1 ある数量を別のものに置き換えて考える問題を解く。[p. 124]</p> <p>○「人の数」を「券の数」に置き換える問題を解く。</p> <p>○単元の学習課題をつかむ。 ★ものとひとのかずについてかんがえていこう。 ○「椅子の数」を「人の数」に置き換える問題を解く。</p> <p>2 順序数の問題を解く。[p. 125]</p> <p>○本時の学習課題をつかむ。 ★「まえからなんばんめ」と「まえにいるにんずう」についてかんがえよう。 ○「前にいる人数」を基にして「前から何番目」かを考える。 ○「前から何番目」を基にして「前にいる人数」を考える</p> <p>3 順序数と集合数の組み合わせられた問題を解く。[p. 126]</p> <p>○本時の学習課題をつかむ。 ★「なんばんめ」と「なんにん」をくみあわせてかんがえよう。 ○「前から何番目」と「後ろにいる人数」を基にして、「全員の人数」を考える。 ○「全員の人数」と「前から何番目」を基にして、「後ろにいる人数」を考える。</p>	<p>・教科書の絵を見て考えさせたり、数図ブロックを操作させたりして、ある数量を別のものに置き換えて考えることができることに気付かせる。</p> <p>・券と人を1対1対応させて線でつなぎ、人の数を券の数に置き換えて考えられるようにする。</p> <p>【評】置き換えて考える活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・教科書の絵を見て考えさせたり、数図ブロックを操作させたりして、「前から何番目」と「前にいる人数」の関係を実感させる。</p> <p>・数図ブロックを並べさせ、該当者だけ違う色にさせると分かりやすい。</p> <p>【評】順序に着目して問題を解く活動を通して「思考・判断・表現」を評価する。</p> <p>・図をかいて考えさせたり、数図ブロックを操作させたりして、順序数と集合数の関係を実感させる。</p> <p>・図をかいたり、数図ブロックを並べたりして考えさせる。</p> <p>【評】順序数と集合数の組み合わせられた問題を解く活動を通して、「思考・判断・表現」を評価する。</p>

### 【 備 考 】

本単元は、置き換えの問題と順序数の問題とで構成されている。置き換えの問題は、求める答えがどんな種類の数量であるかを考え、何を何に置き換えるかを明らかにすることが指導の要点となる。順序数の問題は、数図ブロックや図で実際に確かめて考えさせることが大切である。